

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞

第49号

2010年10月20日発行

http://www.yokosan.info/index.htm e-mail:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp docomo au/ソフトバンク

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



GW配備2周年抗議集会に1200名!

9月25日の「原子力空母配備反対集会」は、2つの団体がヴェルニー公園で相次いで開催しました。毎日新聞も「2派のグループが連続して抗議集会を開いた」と報道しました。午前には三浦半島地区労・平和センター・平和フォーラム主催。午後は阻止連・県闘争本部・安保廃棄中央実行委員会主催です。午前は2700名、午後は1200名が参加し、「出ていけ! 人殺し空母」「放射能基地ぜったい

いや」などの横断幕を持った平和団体や市民らが結集しました。

午後の主催者あいさつにたった全労連の小田川義和事務局長は、「沖縄県知事選をはじめ、秋の米軍基地撤去のたたかいを強める第一歩にしよう」と訴え、「原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会」の共同代表、呉東正彦氏と、市民団体「いらぬ原子力空母」の後藤恵子さんが、連帯あいさつのマイクを握りました。米兵に妻を殺されて裁判でたたかっている山崎正則さんや、阻止連の新

倉泰雄事務局長らは母港化で米兵犯罪が急増したなど危険な実態を報告しました。

横三労連では、2つの集会を成功させようと、9/20にYデッキで宣伝を行いました。また青年たちも、9/12に「ブルーアクション」と称して、Yデッキで1日宣伝を行っています。横三労連の中では、「来年は統一した集会にしたい」という声が上がっています(写真は「赤旗」より)。

「市民病院と地域医療シンポジウム」開催!!

10/16、ヴェルクよこすかで「市民病院と地域医療を考えるシンポジウム」が開催されました。主催したのは「市民病院と地域医療を考える会」です。

シンポでジストは、野村良彦さん(野村内科クリニック医院長)「横須賀における地域医療の現状と課題」、井坂房子さん(横須賀市社会保障推進協議会)「障がいのある人の立場から見た市民病院と地域」、森田洋郎さん(市民病院職員労働組合)「横須賀市立市民病院の指定管理者制度移行をめぐる問題」の3人です。

参加者からは、市立病院の変容ぶりに対する不安と怒りが続出し、市議会に対する不信感もだされました。市民の取り組んだ署名は短期間に二万二千筆を突破して、9月24日に直接、市長に提出されました。

「拡大幹事合宿」、今年もやります!

今年の拡大幹事合宿は、神奈川労連から講師を招いて、「神奈川労連組織拡大・強化3ヵ年計画」の講義を受け、論議を深めます。また、横三労連結成20周年に向けて、記念行事の具体化を論議します。11/27・28(土・日)に民宿「はら」で行います。参加対象は、幹事及び各単組から推薦を受けた幹部とします。例年、舟盛りをはじめとする魚料理が好評です。ぜひふるってご参加ください。集合は2時半に三崎口駅、解散は正午の予定です。参加費は単組の状況でご相談を受けます。

また青年たちは、「ブルーアクション」と題して、9/12(日) 10~4時、Yデッキでさまざまな企画を行いました。グッズ付きチラシには、さまざまな議論があったようですが、青年のビラの受け取りは良かったそうです。横三労連の加盟する阻止連でも担当の宣伝時間を受け持ちました。また、横三労連事務局長は、「いない！原子力空母」からの要請で、モニタリング・ポストの不調の問題を、10分間報告しました。

25日の抗議集会は、市民団体のはたらきかけで、空前の同日開催となりました。2つの抗議集会に参加し、両方成功させましょう。